がんばろう
末崎！
津波なんかに
負けない！

館報まっさき

第２９０号
平成３１年１月２１日
大船渡市立
末崎地区公民館
電話（F 兼）29-2955

末崎町の石碑・祠・神社(18)

お地蔵さん（地蔵菩薩）について　～　その７

(5)　「縛られ地蔵」について　その２

（前号「大岡政談」のつづき）

「寺の門前で立ちながら泥棒の所業を黙ってみているとは門前の地蔵も同罪なり。直ちに縄打って召捕って参れ」地蔵はぐるぐるに縛られ、車に乗せられて与力、同心に守られて江戸市中を引回され南町奉行所へ。物見高い江戸市中のやじ馬連中、どんな裁きが始まるかと奉行所になだれ込んだ。頃を見計らった越前守は門を閉めさせ、「天下のお白州へ乱入するとは不届き至極、その罰として反物一反の科料を申付ける」鶴の一声、奉行所にはその日の中に反物の山ができた。

手代に調べさせるとその中から盗品が出て、それからそれへと調べさせると、当時江戸市中を荒らした大盗賊団が一網打尽となった。越前守は地蔵尊の霊験に感謝し、立派な御堂を建立し盛大な縄解き供養をおこなった。

以来「縛られ地蔵」と呼ばれ、盗難よけ、厄除け、さては縁結びまで、あらゆる願い事を聞いて下さる地蔵尊として、お願いするときは縛り、願い叶えば縄解きする風習が生れ、今も多くの人達の願い事を秘めて縛られ続けている。』

有名な縛られ地蔵の所在地として、東京都葛飾区東水元２丁目南蔵院。東京都文京区茗荷谷　林泉寺。東京都品川区青物横丁願行寺。この外にも各地に多数あるようです。

船河原　雷神社　拝殿

統合後の校舎の利活用

末崎地区公民館（館長＝まちづくり推進員）は、12月20日、ふるさとセンターにおいて、第1回末崎中学校統合後の校舎利活用協議会を開催し、末崎中学校が大船渡中学校と統合した後の末崎中学校校舎の利活用について協議した。

協議結果は次の通りである。

1．平成28年度に示された市教育委員会の案について

かねて、末崎小学校の老朽化に伴い、末崎中学校の統合後に末崎小学校を移転させる案が示されたが小学校を移転させるとすれば、次のことが懸念される。

①　復興計画に基づく、震災地を通らない、末崎町船河原から平まで、末崎小学校前から碁石（碁石海岸）までの新県道が平成33年3月までに整備されることから、この道路が末崎町の主要道路となり、現末崎中学校の玄関や生徒の出入り口の目の前の道路の交通量は観光、産業、通勤、通学等により一段と多くなることが予想され、児童が交通事故の犠牲者になりかねない。

②　また、末崎中学校に隣接されているのが市営球場である。特に硬式ボール使用の大会や練習の際、ファールや暴投で校庭にボールが飛んできて児童に当った場合、死亡事故などという大事故になりかねない。

故に、そういう環境下には、小学校は望ましくない。小学校は安全で安心して学べる環境こそ重要である。現在の小学校は敷地も広く、風光明媚で安全安心な場所にあるので移転すべきでないとなった。

2．末崎中学校の統合後は、中学校の空いた校舎をどのように活用するか。

現在の末崎地区公民館や末崎町振興会、末崎町防犯協会、末崎町老人クラブ、民生児童委員協議会、末崎地区助け合い協議会、交通安全協会等の活動拠点となる施設に、また、多くの町民が集い、活動の拠点となる「交流センター」としての施設として活用したい。

ただし、具体的な活用方法は、市民協働推備室より具体的な地区公民館の在り方等を含めた組織改革が示された後、検討し、市当局の指導をいただきながら計画を立て、町民（委員）に諮って決めていくこととした。

以上の内容を市教育委員会教育長あてに、「末崎町民の意向であるので特段のご配慮をお願いしたい」として、12月26日提出した。

市の組織体制

大船渡市の市民協働準備室は1月15日、市役所において、第1回大船渡市まちづくり推進員（地区公民館長）およびまちづくり推進協力員（主事）懇談会を開催した。

その中で市は人口減少社会における持続可能なまちづくりに資することを目的に、平成31年度から内部組織を見直すとした。

特に、教育委員会で所管していた「文化」「スポーツ」「生涯教育・社会教育」を市長部局（生涯学習課）に移管する。また、中央公民館を廃止し、これまで中央公民館が担っていた事業や事務は市長部局市民協働課において行うとのことである。

今後の地区のまちづくりの方向性について

市は地区のまちづくりを次のように進めたいと考えている。

①　人口減少に対応し、将来にわたって地区を持続していくためには、地区の将来像の実現や運営に関わる住民や団体を、時間をかけて幅広く増やしていく必要がある。

②　地区の実情に応じて、行政と協働し、地区の課題を自ら解決する仕組みが必要である

③　以上、①、②のことから、地区の活動拠点である「**地区公民館**」を「**地区センター**」に移行し、「**地区運営組織**」による地区のまちづくり活動を促進する。

④　地区運営組織は、地区センター長、事務局長、事務局員、地域公民館、各種団体等により構成し運営していく。

⑤　「地区公民館」から「地区センター」への移行時期は、市では平成34年度と考えている。平成32～33年度は地区運営組織の結成に取り組む時期としている。

今後は、この平成31年1月から3月の間に市議会に説明、さらに有識者による検討委員会を設置し意見を伺ってから各地区への説明を行いたいとしている。

☆末崎地区公民館杯ボッチャ大会

主催　末崎地区公民館

日時　2月22日㈮　9時45分～12時

開会式場　9時45分　ふるさとセンター体育室

大会規則

(1)チーム対抗戦とする

(2)総対戦のリーグ戦とする

(3)3人対3人で対戦し、持球は1人2球とする

表彰　3位まで表彰

参加料　無料

参加資格　末崎地域住民（誰でも参加できます）

参加申込み　試合当日大会受付にて申込み事前申し込みはふるさとセンター（29―2955）まで

その他　参加者全員に参加賞があります

☆なかよし親善ラージボール卓球大会

主催　大船渡市中央公民館　末崎地区公民館

日時　2月26日㈫　9時45分～12時

会場　ふるさとセンター体育室

大会規則

(1)ダブルス戦とする

(2)3セットマッチで行う

(3)予選ブロックの勝者による決勝ブロック戦で勝敗を決する

表彰　3位まで表彰

参加料　無料

参加資格　末崎地域住民（誰でも参加できます）

参加申込み　試合当日までにふるセン（29―2955）又は田畑（29―2323）まで

その他　参加者全員に参加賞があります

※大会終了後、ふるさとセンター和室において「なかよし新春お茶っこの会」を予定しております

会費　1000円（弁当・ジュース代等）

★「パソコン・スマホ相談」

日時　2月9日㈯　13時～16時

場所　ふるさとセンター2階会議室

パソコン・スマホ操作でお困りの方、さらにレベルアップを図りたい方、どうぞおいで下さい。

★「草月流生け花」教室

日時　2月13日㈬　10時～12時
2月27日㈬　10時～12時

会場　ふるさとセンター2階会議室

主催　末崎地区公民館

講師　鈴木隆子さん

持ち物　花器・花ハサミ・剣山・水切りボール・タオル・ゴミ袋・新聞紙

費用　花材代は実費となります。

連絡先　鈴木隆子さん　電話29―3473

＊花材の準備がありますのでみなさまお自由にご参加下さい。1月31日（木）までに連絡をお願い致します。